

平成30年11月8日

小林 正則 小平市長 殿

小平市議会公明党

## 災害対策の整備を求める緊急要望

今夏、日本列島は人命を脅かす大きな自然災害が相次ぎ、甚大な被害が発生しました。また、災害レベルとも言われる猛暑により、熱中症の被害も相次ぎました。災害に対する市民の不安が高まっており、災害から市民の命を守る対策を迅速に講じる必要があると考えます。

市議会公明党はこれまで学校の暑さ対策として、学校施設への空調設備の整備を強力に推進して参りました。特に、気温が上昇する夏の体育館では、命にかかわる重大な問題が発生する可能性があるとして改めて認識したところであり、一般質問でも取り上げ、国や都の動向を注視して早期整備への要望をして参りました。学校体育館は災害発生時に市民の避難所にもなることから、冷房だけでなく、暖房も含めた体育館の空調設備を集中的に整備していくべき喫緊の課題であると考えます。

9月26日、都議会においても公明党は代表質問で、学校体育館への冷暖房設備の設置に向けて補正予算の編成を提案し、小池百合子知事が「来夏からの対応を見据えて補正予算を編成するなど、緊急的な対応を行って、区市町村を支援する」と答弁しています。また、10月19日、公明党の「平成30年度補正予算の編成に関する緊急要望」でも、小池知事は来夏に間に合うよう補正予算に盛り込み、「急いでできるようにしたい」と積極的な姿勢を見せました。これらのことを踏まえ、以下について強く要望します。

### 記

#### 一、学校体育館への冷暖房設備の整備を迅速に進めること

- ・東京都の補正予算を活用し、避難所となる学校体育館の冷暖房設備の整備・充実を進めること
- ・来夏に間に合うように公立小中学校の体育館に第一陣の冷暖房設備の整備が実現するよう取り組むこと

#### 二、各公共施設の非構造部材の耐震化を進めること

- ・特に避難所となる公民館や二次避難所（福祉避難所）となる地域センターをはじめとした各施設の窓ガラスに飛散防止フィルムの設置を進めること

#### 三、行政庁舎や学校施設の非常用電源を迅速に整備すること

- ・災害時、停電時に行政機能、学校機能を維持し住民、児童の救援活動を継続するため非常用電源整備について進めること

以上